



庭の収穫野菜のかき揚げ

新型コロナウイルスの感染が各地で拡大しつつあり、気になる所です。お家の方でもお出かけへの期待がある一方で危惧もあり不安視されているのではないかと思います。また、梅雨明けからの暑さには熱中症対策も必要です。



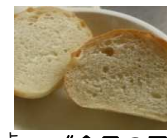
庭の一角 猫じゃらし

朝の登園前には、再度、子どもたちにコップ1杯の水分補給をお願いいたします。現在各所に配備している熱中症アラームが鳴り続けるといった状況にはありませんが十分注意して、セミやトンボ・蝶々が訪れ夏草のある庭あそびを楽しみたいと思います。

ニコニコ桜あかい通信



収穫した小麦を使ったよ



《今月の予定》

1 土	
2 日	
3 月	
4 火	
5 水	
6 木	誕生日会
7 金	
8 土	
9 日	
10 月	
11 火	
12 水	乳児月例検診
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	
19 水	
20 木	秋の準備
21 金	
22 土	
23 日	
24 月	
25 火	
26 水	
27 木	蝉の産卵跡
28 金	
29 土	
30 日	
31 月	



毎月実施 避難訓練 安全点検 月例健診

2019年度：保育園での怪我集計より

昨年に引き続き保育園での怪我事故集計の一部をお知らせ致します。総件数は275件、3歳未満児は138件、幼児は137件、男児件数がやや多く怪我事故の場所は室内129件、庭119件、公園23件が大きい件数でした。怪我は転倒等による擦傷108件・打撲72件、次に噛み傷が43件あり眼に砂や脱臼疑いなどでの受診が3件でした。月金は平均48件、火・水・木が55件を超え、時間帯は午前中173件、午後16時半までが77件を占めました。保護者の皆様のお陰で廊下を走る事も減ってきています。子どもたちの動きを更に理解しリスクを減らすと共に子どもたちが積極的に戯れて動き遊べる環境整備に努めたいと思います。

0歳児だいち 1歳児うみ

子ども達が9名に。お友達が増えた事で楽しそうに声を上げて、何やら会話をしている様子です。近寄って見つめ合う姿も。部屋に吊したチャイムや揺れるモビールは大好き、きれいな音にのっとりしたり拍手したり。マットのお山やトンネルができるとあちこち探索、テラスでは水にも触れ、お顔にかかってものっとり気持ちよさそうです。初めての園の夏、体調管理をし、身近な世界の何だろう？に沢山気づき過ぎ

梅雨空で外に出られない日が続きましたが、部屋では「バナナのうた」や「カエルのうた」を歌う声が響き、お絵かきやシール貼り、小麦粉粘土をこねこね… 肋木やサーキットで沢山体を動かして、雨の日もうみ組の子どもたちは元気いっぱい!! いよいよ夏本番の8月。水分補給、休息を十分にとりながら、水遊びや泥んこ遊び、絵の具遊びなど、夏ならではの遊びを、子どもたちの興味や関心、面白いという気持ちに共感し、楽しく過ごしていきたいと思ひます。

右近・中井・佐久間・伊藤・森田・高石

2歳児 もり

園庭は、賑やかな蝉の鳴き声が聞こえます。子ども達は、空を見上げ「どこにいるのかな？」と、探したり「聞こえるね」と、友だちに伝えたりしています。みんなの大好きな歌『どんないろがすき』を、歌いながら、大きな水溜りにどぶーん!! 色水遊びに絵の具遊び!! 冷たい水、いい気持ち、あれれ!! 色が変わったね等、様々な思いを巡らせ“楽しい!!”と、繰り返し遊ぶ姿が見られます。8月も“やってみよう・おもしろい・楽しい”の思いを大切に過ごしていきたいと思ひます。

大川・御立

3歳児 つき

セミやいろいろな虫の音が賑やかな園庭に出ると、その姿を見つけようと木の幹や森の中に目を凝らし、耳を傾けて、そのまなざしはドキドキ、キラキラ…見つけた瞬間、虫たちに負けないくらいの声でここにいるよ！来てごらん！と教えてくれます。

元気いっぱい、走るの大好き！なみんなでおにごっこするのも大きな楽しみです。何してるのかな、やってみてほしいな、いっしょにしよう、もういっかい！と子どもたちの輪も広がります。またお水遊びをしたり、色水、氷水…そこから広がるお店屋さん…冷たい、あったかい、

樽井・寺田・小深田

ふしぎだね つち みず あおいそら

kitchen： 鶴川・石原・近藤

茄子が取れたー！枝豆いっぱい！ブルーベリーだよ！と収穫物が、子どもたちに抱えられて何度もkitchenにやってきます。

ヤマモモジャムはヨーグルトに、ゴーヤ・ナス・胡瓜の夏野菜は天ぷらや浅漬けに、小麦はご飯にパンやケーキ等に大活躍。

子どもたちのリクエストで《特別美味しい味》に変身したご馳走を沢山届けられて嬉しいキッチンです。みんなたくさん食べてねー。

4歳児ほし 5歳児あかり

お日様が出ると毎日夏本番！蝉の声聞こえてー！ほらあそこ！と、目を丸くして教え合う子どもたちは凶鑑を手に庭を探索。【何蝉かな？】と夏真っただ中を遊びます。部屋では夏祭り制作がすすみ、ほし組はあかり組の様子を受けてイメージを膨らませ、5歳児あかり組は昨年の経験からアイデアをたくさん出して考えあい、「こうしたら？これ作ってみたい！」と試行錯誤しながら、制作は日々進化しています！どんな夏祭りができるのか、まだまだ途中ですが、人との距離や消毒、など、いつもと違う今年の夏ですが、お家でにぎわう夏らしさを感じて過こ

戸田・関・柴崎・本田